

平成 28 年度 8 月 19 日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部  
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 (No.31)  
「実践女子大生における金銭意識」に関する調査結果  
～食費にお金を費やす女子大生が多い～

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「実践女子生の金銭事情」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は 58 サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学(担当:竹内光悦)」、「経営学(担当:篠崎香織)」、「マーケティング(担当:斎藤明)」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

渋谷キャンパスに所属する実践女子大生は、金銭に対してどんな意識を持っているのか 58 サンプルの実践女子大生から回答を得た。

アルバイトをしている学生は 90%と高い割合おり、月に自由に使うお金はアルバイトで稼いだお金から捻出している事がわかった。月に稼ぐ金額は平均 73,173 円であり、月に自由に使える金額は平均 46,897 円であった。月に稼いだお金を学生は何に使っているかと言うと、食費にかけている割合が一番多い事がわかった。また、貯金は月平均 2 万円していることが分かったが、現在の貯金額が 10,001～20,000 円の人が最も多く、貯金しても貯める事は出来ず、すぐに使ってしまうと推測できる。

調査結果のポイント

(1) 多くの方がアルバイトで年収 50～103 万円稼ぐ

アルバイトをしている割合は回答者全体の 90%であり、実践女子学生の多くがアルバイトをしていると言える。それは一人暮らしでも実家暮らしでも差はなかった。また、時給は 1,000～1,049 円、年収 51～103 万円働いている人が一番多く、回答者全体の 23%と言うことがわかった。お小遣い等のアルバイト以外の収入については、貰っていないという人が回答者全体の 48%であった。そして、アルバイトをしている人の中でアルバイト以外の収入がある人は、アルバイトをしている人の 50%であった。

## (2) 月に使う金額の半分は食費という人が多い

月に自由に使える金額は、平均 46,897 円。また自由に使えるお金を何に使っているか尋ねたところ、「外食・飲み会・お弁当・食材」に使っている人が 40%と最も多く、次いで「レジャー・娯楽・サークル・交通費」が 34%「衣類・小物・アクセサリ・靴・美容」33%、「書籍・雑誌・ディスク類・ゲーム」が 7%であった。これより、実践女子学生は食費に多くお金を費やしていることがわかったが、レジャーや娯楽・サークル等の費用、服などファッションに関するものにも同等のお金を費やしている事がわかった。

## (3) 貯金はしているが額は少ない

貯金をしている人の割合は、回答者全体の 84%と高かったが、現在の貯金額をみると、1～20,000 円の人が貯金をしている人の 50%以上を占めた。貯金はするが現在の貯金額はそれほど高くないことがわかった。

## (4) クレジットカードを持っている人は多数

クレジットカードを持っている人の割合は、回答者全体の 71%であった。持っているのに使っていないという人も回答者全体の 24%おり、全ての支出をクレジットカードで払っている人は少数であることがわかった。

### 調査結果について

#### <調査概要>

1. 調査対象： 実践女子大生 3 年～4 年生(短大生含む、渋谷キャンパス在生)
2. 調査方法： 質問紙によるアンケート
3. 調査期間： 2,016 年 5 月
4. 有効回答者数： 58 人

### 本調査担当チーム

実践「ペルソナ」研究会

3 年 仲田真緒

3 年 松本美緒

3 年 山崎梨紗

## 調査結果データ

1. 居住形態を尋ねたところ、実家暮らしが83%、一人暮らしが15%、その他が2%であった（図1）。また、アルバイトの有無を尋ねたところ「アルバイトをしている」と答えた人が90%、「アルバイトをしていない」と答えた人が10%であった（図2）。居住形態とアルバイトの関係性について考察した結果、「実家暮らし」かつ「アルバイトをしている」人が74%と多数であった（図3）。

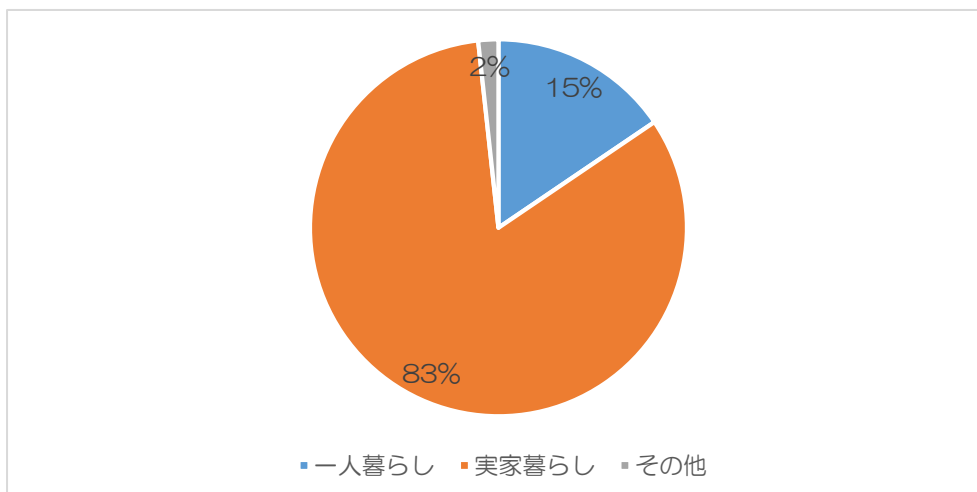


図1 回答者全体の居住形態 (n=58)

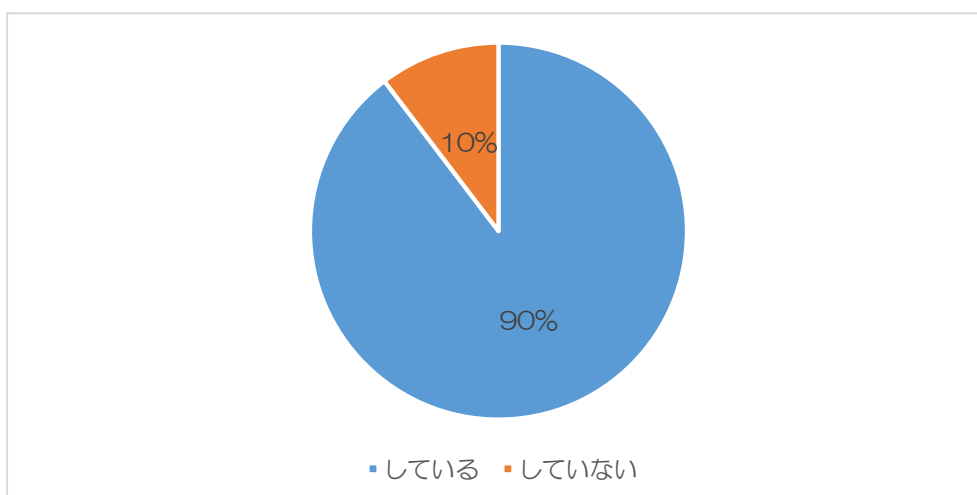


図2 アルバイトの有無 (n=58)

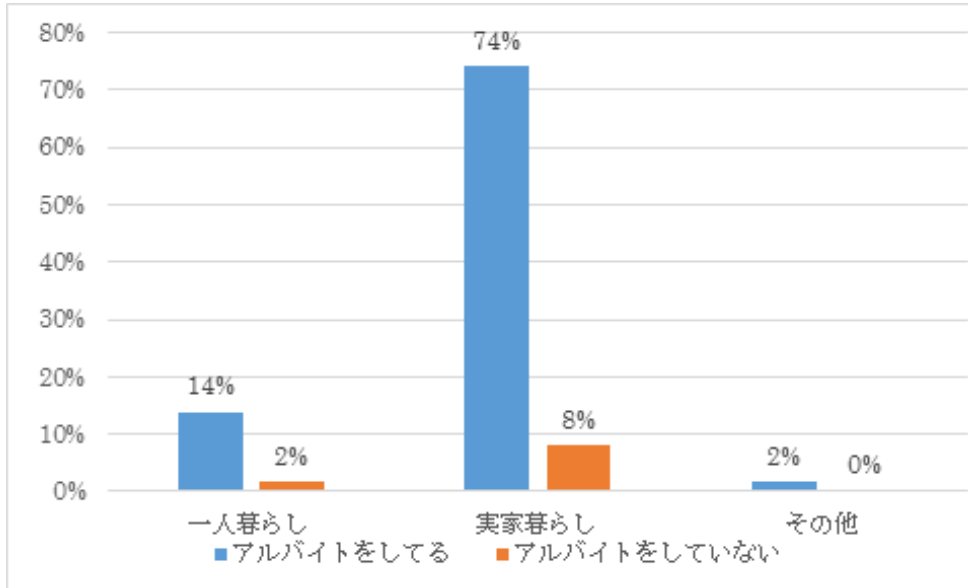


図3 居住形態とアルバイトの有無 (n=58)

2. アルバイトをしている人の時給を尋ねたところ「850～899円」が13%、「900～949円」が19%、「950～999円」が12%、「1,000～1,049円」が29%、「1,100円以上」が17%であった(図4)。実践女子大生の平均時給は「1,015円」と分かった。また、平均月収は73,173円であった。年収についても尋ねたところ「0～50万円」が17%、「51～103万円」が77%、「103～129万円」が4%、「130万円以上」が2%であった(図6)。実践女子大生の年収が「51～103万円」が大多数をしめている要因のひとつは、103万円を超えると扶養控除から外れてしまうことを考慮した為であると考えられる。

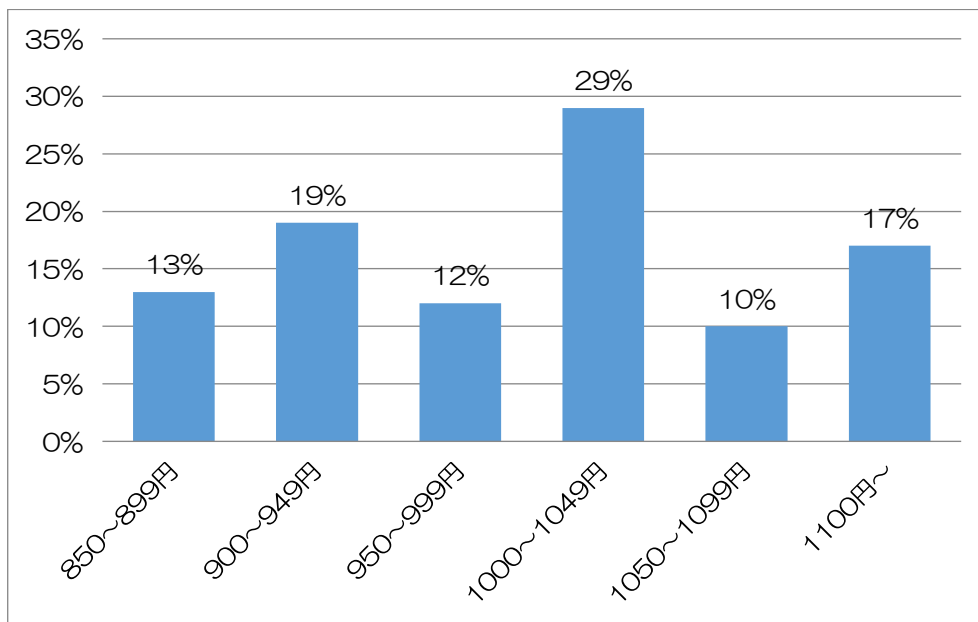


図4 アルバイトの時給(n=52)

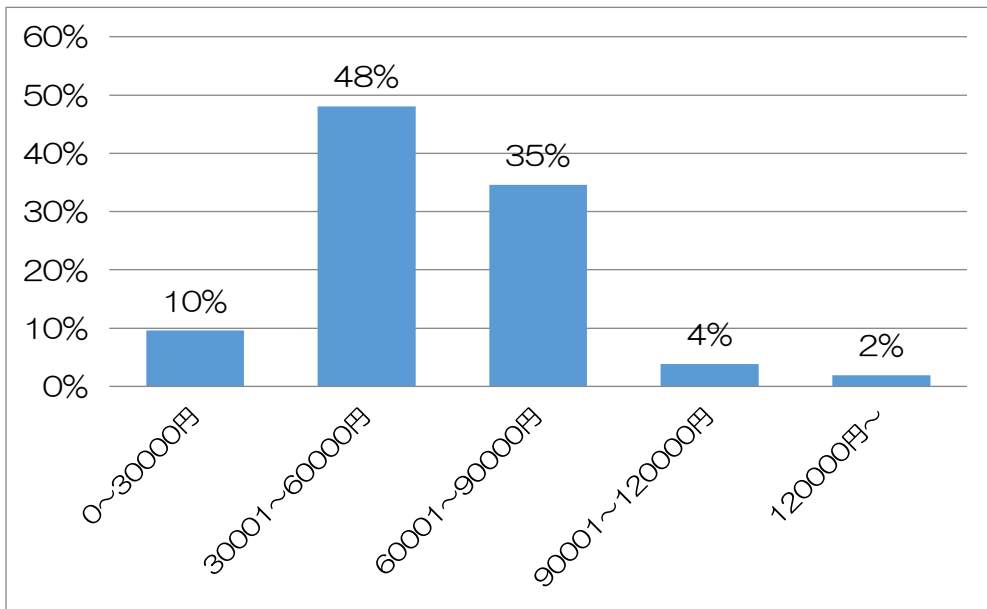


図5 アルバイトの月収(n=52)

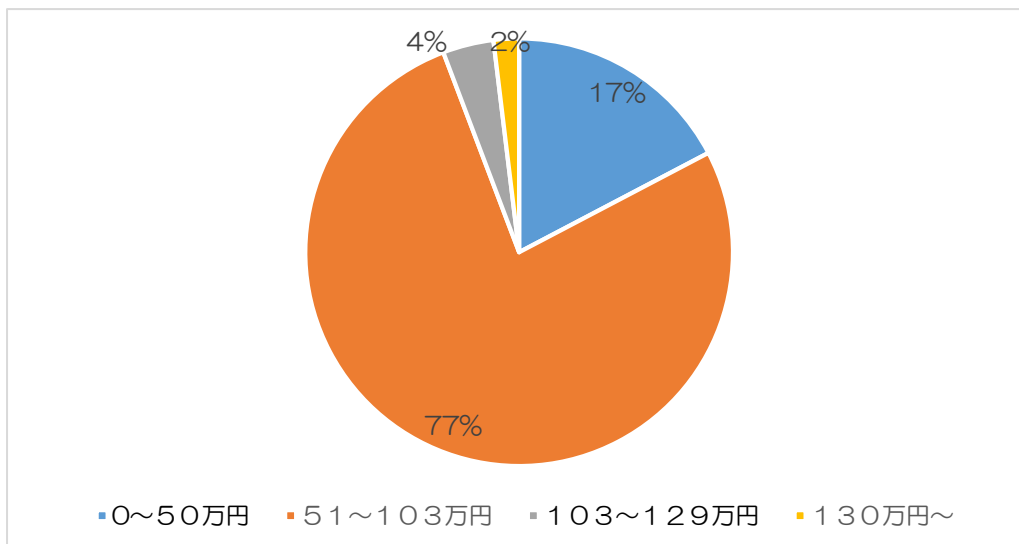


図6 アルバイトの年収 (n=52)

3. アルバイト以外の収入（お小遣い等）について尋ねたところ、「貰っていない（0円）」と答えた人が48%、「1~9,999円」の人が9%、「10,000~19,999円」の人が17%、「20,000~29,999円」の人が7%、「30,000~39,999円」の人が2%、「40,000~49,999円」の人が3%、「50,000~59,999円」の人が10%、「60,000円以上」の人が3%であった（図7）。

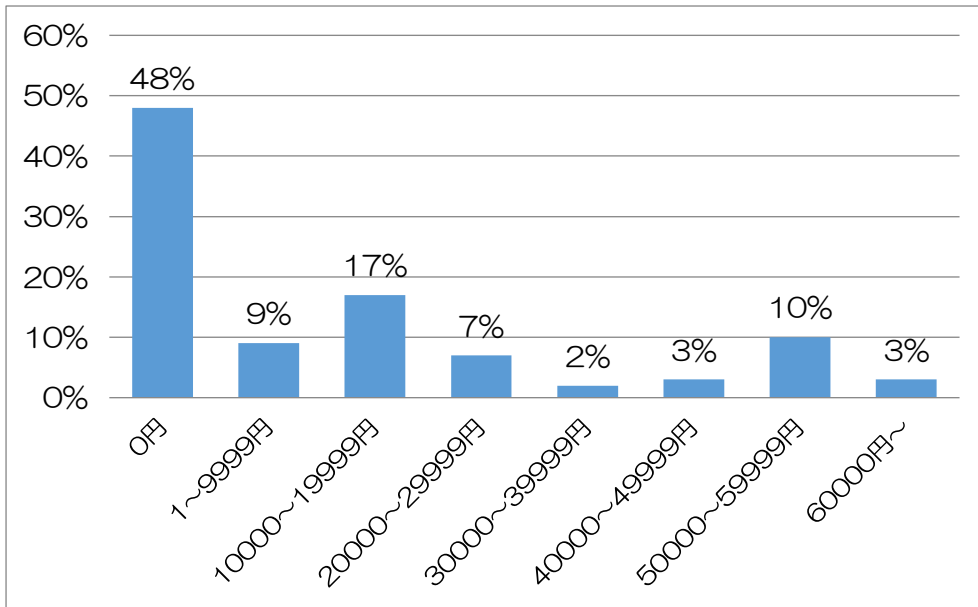


図7 アルバイト以外の収入 (n=58)

4. 月に自由に使える金額について尋ねたところ、「10,000円」が7%、「20,000円」が9%、「30,000円」が19%、「40,000円」が12%、「50,000円」が24%、「60,000円」が14%、「70,000円」が7%、「80,000円」が2%、「90,000円」が0%、「100,000円以上」が7%であった(図8)。

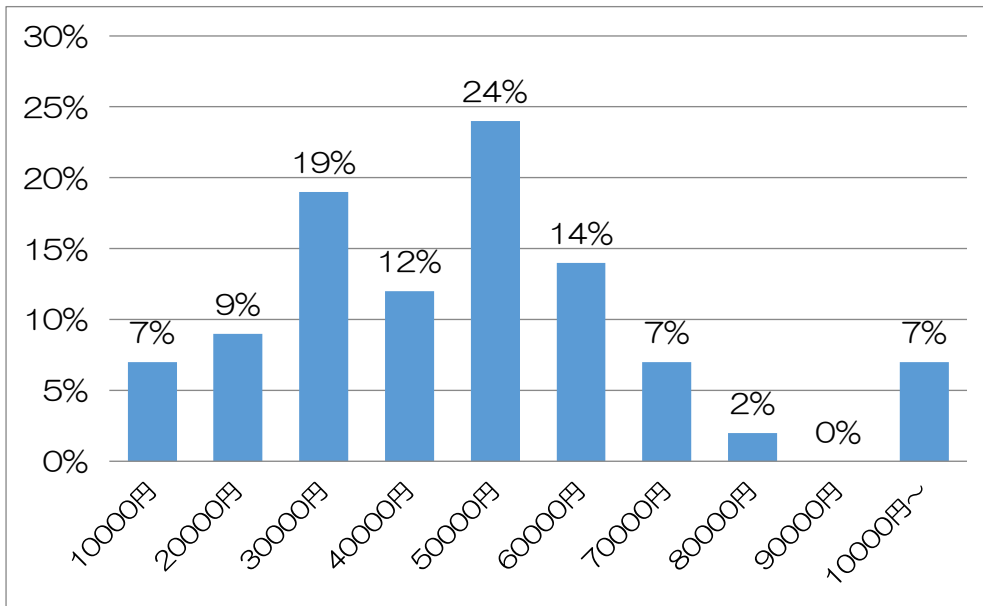


図8 月に自由に使える金額 (n=58)

5. 自由に使える金額の中で、何にお金をつかっているか尋ねたところ、「服・小物・アクセサリー・靴・美容」と答えた人が33%、「外食・飲み会・お弁当・食材」が40%、「レジャー・娯楽・サークル・交通費」が34%、「書籍・雑誌・ディスク類・ゲーム」が7%、「その他」が5%であった（図9）。

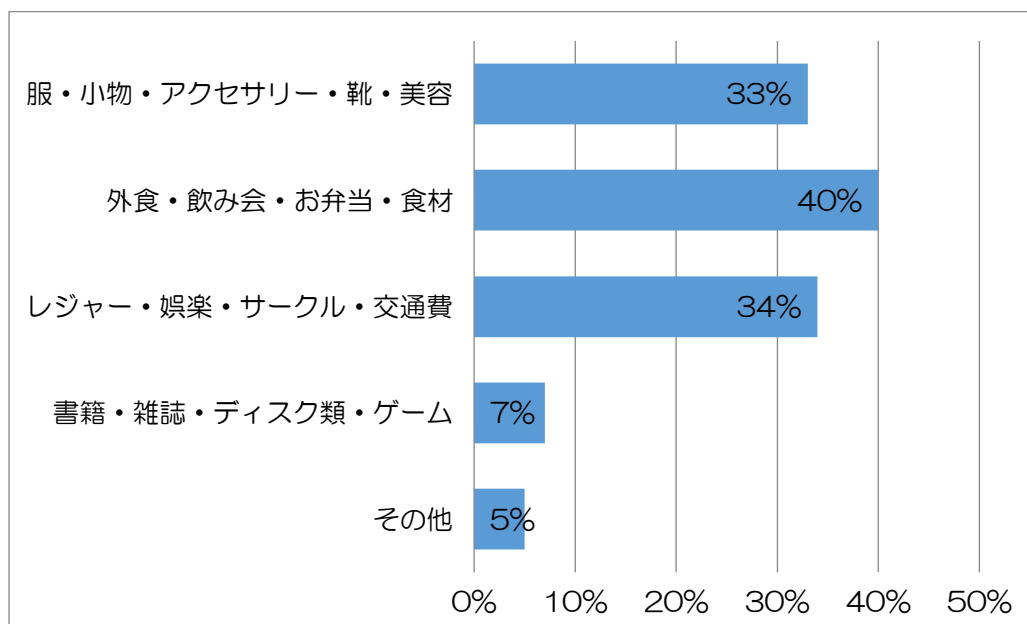


図9 お金を費やしている割合が高いジャンル (n=58 複数回答可)

6. 貯金をしている人の割合について尋ねたところ、「貯金をしている」と答えた人が84%、「貯金をしていない」と答えた人が16%であった（図10）。また、現在の貯金額について尋ねたところ、「0円」の人が19%、「1～100,000円」が38%、「100,001～200,000円」が16%、「200,001～300,000円」が7%、「300,001～400,000円」が5%、「400,001～500,000円」が5%、「500,001円以上」が10%であった（図11）。

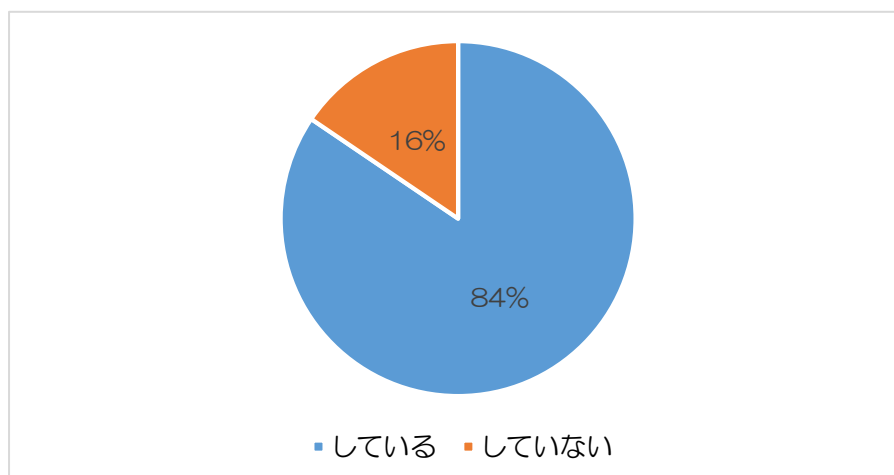


図10 貯金をしている人の割合 (n=58)

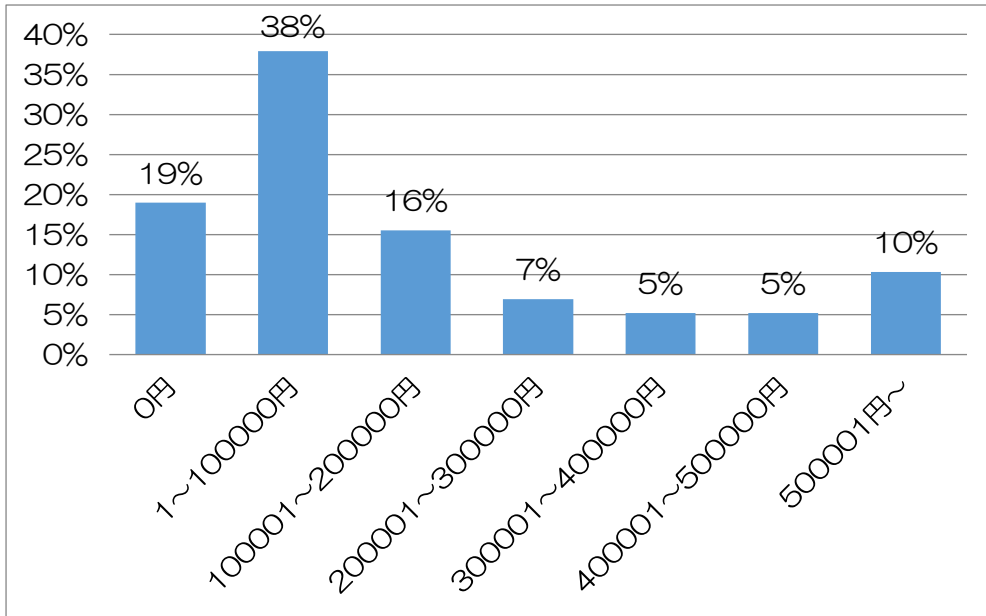


図1 1 貯金額(n=58)

7. クレジットカードの有無について尋ねたところ、「クレジットカードを持っている」と答えた人は71%、「クレジットカードを持っていない」と答えた人は29%であった（図12）。また、クレジットカードを持っている人の使用金額は、「0円」と答えた人が24%、「1~10,000円」が22%、「10,001~20,000円」が24%、「20,001~30,000円」が12%、「30,001~40,000円」が2%、「40,001~50,000円」が15%であった（図13）。

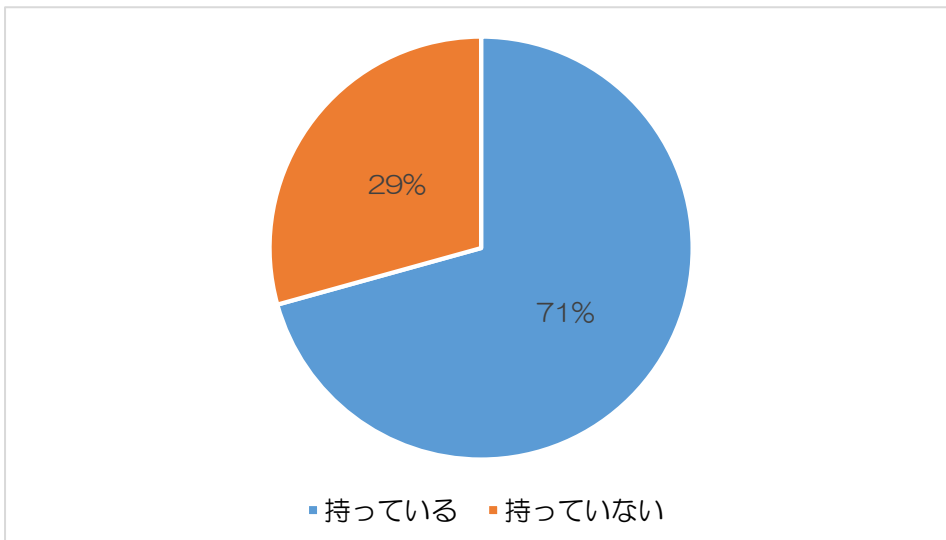


図12 クレジットカードを持っている人の割合(n=58)



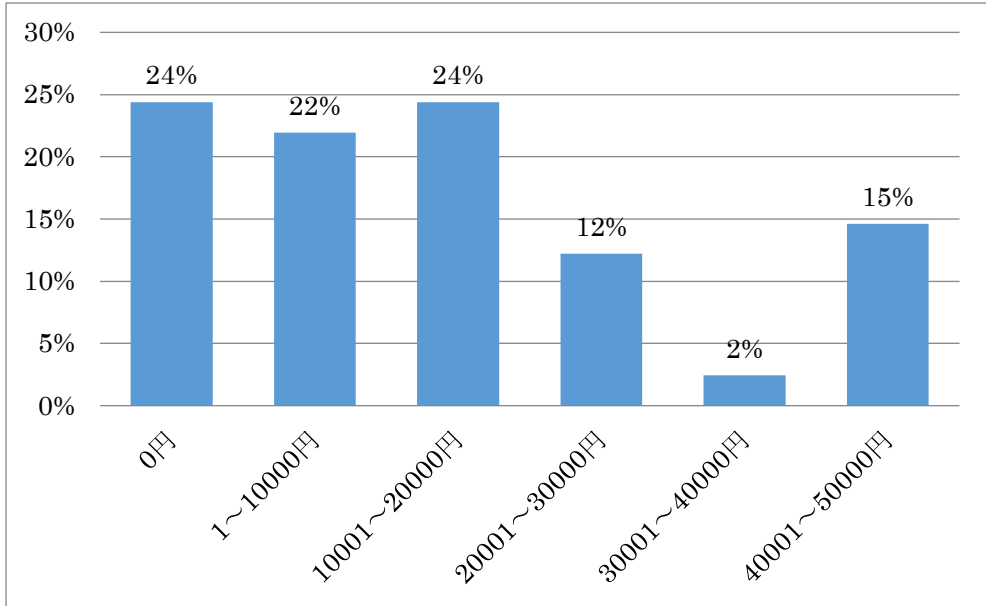


図 13 クレジットカードを持っている人の月平均使用額 (n=41)